

週刊

タバコの正体

手術前には、まず

禁煙

point1

喫煙は手術の合併症を増やし、傷の治りも悪くします。

point2

禁煙はいつから始めても合併症を減らす効果があり、早いほど有効です。

point3

禁煙は手術後も継続することで、病気の経過を改善します。

point4

受動喫煙も手術経過に有害です。家族が手術なら禁煙しましょう。



公益社団法人 日本麻酔科学会

周術期禁煙推進ワーキンググループ監修

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町1-5-2 神戸キメックセンタービル3階

喫煙者が病気やケガで手術が必要となった場合、禁煙するよう指導される事を知っているでしょうか。

その理由はポスターにあるとおり、術後の治りに影響するからです。例えば縫合部分が治るのに時間がかかったり、別の疾患を発症する合併症になったりする確率が高くなるのです。

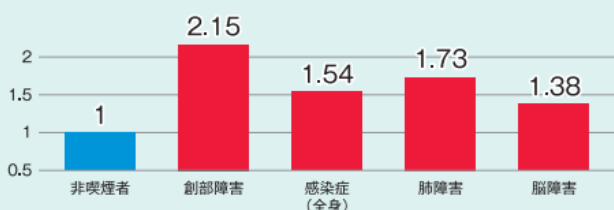
病気やケガと時ぐらいタバコは我慢できるだろうと思われそうですが、なかなか我慢できない人も多く、禁煙するためにより多くのストレスを感じてしまうのです。

手術を前に不安な心境に加え、ニコチン切れによるイライラまで抱えてしまうなんて、とてもつらいですね。タバコを吸い続けると、こんな事態になるかも知れない事を知っておいてください。

産業デザイン科 奥田 恭久

喫煙と手術の関係

喫煙者は、非喫煙者より術後合併症が多くなります。



喫煙の危険性



術前禁煙について正しく理解しましょう

できるだけ早くから禁煙したほうが合併症が減ります

受動喫煙も喫煙と同じ悪影響があります。手術患者の家族も禁煙しましょう

喫煙は術後の痛みを強くします

喫煙はがんの術後再発率を増加させます

本数を減らしたり、新型タバコに変えても効果はありません

術前禁煙の意義

禁煙開始

禁煙後の変化

20分	血圧や脈拍が正常状態に戻る
12時間	血中の一酸化炭素が正常に戻る
24時間	血中のニコチンが消失する
72時間	呼吸がしやすくなる
2週間	心臓の機能が改善する
3週間	傷の治りにくさ・傷の感染しやすさが改善する
4週間	呼吸器合併症の起こりやすさが改善する
8週間	呼吸器合併症が非喫煙者と同等になる

新型タバコが従来のタバコよりも健康に与える影響が少ないという科学的証拠はありません。

予定手術では、**4週間以上前からの禁煙が望まれます。**